



Walk with Children めぐる

大人 子供

せいび

202 号
2024 年 6 月

「わたしは植え、アポロは水を注いだ。

しかし、成長させてくださったのは神です。」

コリントの信徒への手紙 3 章 6 節

校長 シスター 小島 理恵

子ども達にとって、楽しい行事で心が躍る 6 月を迎えました。すでに実施されたものもありますが、各学年の合宿や社会科見学も次々に行われています。そして運動会。どれも子ども達の笑顔が輝く行事です。

今、1、2 年生は生活科でそれぞれ「アサガオ」、「ミニトマト」を育てています。毎日の小さなお世話が植物や野菜の成長を助けることを実体験できる貴重な学習です。水やりをするために朝の身支度を素早く済ませ、ペットボトルに水を入れ、丁寧に水を注ぐ姿は、たいへん微笑ましいです。

一つひとつの学びを通して、子ども達の心も神様が成長させてくださることを信じつつ、これからも子どもと共に過ごしてまいります！



コネッショナー

Conessione

～つながり～

「Conessione」とは、イタリア語で「つながり」を意味する言葉です。

そこで、ここではキリスト教とのつながりを大切にするための豆知識を紹介していきます。

「すべて多く与えられた者は、多く求められる。」

ルカによる福音書 12 章 47～48 節

今月実施したカンボジアウィークでは、みんなでカンボジアの挨拶をしたり、カンボジアについて調べたものを掲示して見合ったりすることを通して、他言語、他文化に触れる機会となりました。

目黒星美がシェムリアップにあるボスコ・サンデースクールの支援を開始して 15 年ほどになります。現地の小学校を訪れた際、子ども達はとっても明るく、元気いっぱい笑顔で授業を受けてくれました。でもある日、帰る時とても悲しそうな顔をして寄って来た子がいました。「明日から学校には来られない。家の手伝いをしなければならないから。」と言うのです。カンボジアには、長年現地で支援に携わる日本の方々がいらっしゃり、自らに与えられた使命を果たそうとカンボジアのために尽力している方々との出会いも多くありました。目の当たりにした現実に対して、自分には行動する使命があると強く感じました。自分ができるのか、神様から与えられた使命は何かということ改めて問い直し、自らの生き方を見つめていきたいと強く感じました。

1・2年生遠足

はじめての遠足

1年生

小学校生活はじめての遠足を、みんなで楽しみにしていました。当日はあいにくの天候でしたが、雨にも負けずにここに笑顔で八景島シーパラダイスでの1日を過ごしました。

各クラスの子どもたちの声です。

「セイウチが大きくて、お水に入った時、バシャンと入ったのがすごかった。」(A組)

「ペンギンが、トコトコ歩いてきたのがかわいかった。」(B組)

「お友だちと一緒に弁当を食べたことが楽しかった。」(C組)



八ヶいじまシーパラダイス

2年生

わたしはえん足で、よこはま八ヶいじまシーパラダイスに行きました。まえに行ったことがあります、ひさしぶりだったのでとてもたのしかったです。イルカショーも見られてとてもうれしかったです。1ばんたのしかったのはエスカレーターです。どうしてかという、ふつうのエスカレーターは何にもないのに、八ヶいじまシーパラダイスのエスカレーターはうみのいきものエスカレーターだったのでとてもびっくりして、わたしは声が出てしまいました。イルカショーのところでおべんとうを食べられたのもうれしかったです。

ほかに、レッサーパンダがかわいかったです。レッサーパンダが上をあるいていて、手がとどきそうでした。レッサーパンダのおしっこに気をつけてというかんばんがあったので、「レッサーパンダのおしっこに気をつけないとあたまにかかっちゃう！」と言いました。そのことばを言った時、少しわらってしまいました。またクラスみんなと行きたいです。

3年生合宿

～菅平高原学校～

5/14～17

がんばった水えい

3年生

合宿で2日目と3日目に水えいをしました。その中で心に残ったことが3つあります。

1つ目は、記ろく会です。どきどきわくわく楽しみでした。がんばっておよいだので、とっきゅうをとれてうれしかったです。25mいじょう泳げたこともびっくりしました。

2つ目は、たからさがしです。1回せんは、男子が勝ち、2回せんは女子が、勝ちました。勝てた時は協力できたと思いとでもうれしかったです。

3つ目は、ながれるプールです。みんなで一緒に同じ方向に歩いてながれを作って面白かったです。ながれる方向と反対に歩く時は、大変でしたが、みんなで気持ちを一つにして同じ方向に歩いていくとだんだんなれてきました。

クラスみんなで入った水えいは、とても楽しかったです。



合宿で学んだこと

5年生

「ミズバショウの一番の敵は、人間なのかもね。」

ハイキング中の細谷教頭先生の何気のないこの一言が、尾瀬ヶ原をふきおりの風とともに聞こえてきました。川の水の流れにゆれながらたくましく生きているミズバショウの姿を改めて見て、どの生き物も一生懸命に生きていると感じ、敵ではなく、自然を大切にしていこうと強く思いました。

もう一つ心に残った大きな学びは、友達と協力することの大切さです。現地学習で、片品村の長い道を歩くのはとても大変だったけれど、友達とはげましながら歩いた後の達成感がすごかったからです。友達のすごさを学びました。

この合宿で学んだ多くのことを、今後に活かしていきたいです。



聖母祭

5月23日

ドン・ボスコの精神を受け継いで子ども達、教職員、そして今年度は全学年の保護者の皆様とも聖母マリアから受けた恵みの感謝と世界の平和をともに願うことができました。子ども達は、カーネーションを手に祈りを唱え、聖歌を歌い、体育館に集いました。きれいな花々で飾られたマリア様を崇め、心をこめて行った徳の花を捧げ、心を一つに祈りました。これからも、自ら徳の花を積んで、様々なことに目を向け、豊かな温かい心で過ごしていくことを願っています。

